



石川県 健民運動

11月号

《27. 11. 30第235号》

かわら版



毎月7日は「健康の日」です。

～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～

- 鼓動 地域で取り組むレクリエーション
(一財)石川県レクリエーション協会 事務局長 下川 紀美子
- 第51回花いっぱいコンクール
- 「家庭の日」川柳コンクール
- ふるさとのツバメ総調査作品・ツバメのお宿シール原画コンクール
- 太陽と緑に親しむ健民祭(10月開催分)
- 美しい石川を歩く一銭五の里・宮腰一
- 12月の健民運動カレンダー
- 薫風 会員全員の体力増進と病気予防のために
石川県ゲートボール協会 事務局長 松井 邦夫
- 「あいむ」だより

鼓動

一般財団法人石川県レクリエーション協会
事務局長 下川 紀美子

地域で取り組むレクリエーション

石川県レクリエーション協会は、昭和31年の設立以来、レクリエーション活動の発展と普及を図るために、レクリエーションインストラクターの養成をはじめとして、インストラクターの派遣業務や各種事業を行っております。

昨今、健康寿命という言葉がよく聞かれます。今年度、介護保険制度の改正があり、要支援1・2の給付サービスの一部を市町村が手がける事業へと移行することになりました。当協会では、地域の介護予防活動を通して、心と体の健康を図るとともに、自分にあった楽しみ方を見つけられる健康づくりの支援をおこないたいと、平成27年度（公財）日本レクリエーション協会の委託事業として「スポーツレクリエーション指導者養成講習会」を開催しました。これからは、修了者の方々が地域に出向き、高齢者の心身ともに健全な発達、生きがいのある生活のために取り組み、地域を支える大きな力になることを期待し、日々精進しております。

石川県レクリエーション協会では、ニュースポーツ用具の貸出を行っています。老人会や小学校での親子レクリエーション、地域の健康教室などに活用していただき、大変喜ばれております。料金がかかりますが、一度どんなものがあるのかなど、お気軽にお問い合わせください。

レクリエーションは、いつでも、どこでも、だれでもできるもので、コミュニケーションツールとして大きな役割を果たします。今後とも県内各市町レクリエーション協会、加盟種目団体をはじめ関係機関とも一層の連携を図りながら、活動に取り組んでいきたいと思っております。



スポーツレクリエーション指導者養成講習会



ゲーム指導基本とアイスブレイキング講習会



インストラクター養成講習会

◇ 第51回花いっぱいコンクール



最優秀賞 白山市立北辰中学校

10月16日（金）に開催された総合審査会において、今年度の「花いっぱいコンクール」の入賞花壇が選ばれました。9月28日（月）から4日間にわたって行われた現地審査を踏まえ、応募のあった48箇所の花壇から最優秀賞の白山市立北辰中学校の花壇を含めて17の花壇が入賞しました。

入賞花壇は、次のとおりです。

- | | | |
|--------------|-------------------|--|
| 【個人の部】 | 優秀賞
奨励賞 | 林 紀子（白山市）
太田一明・澄枝（白山市） |
| 【幼少年の部】 | 奨励賞
奨励賞 | 七尾市社会事業協会ななおあいじ保育園（七尾市）
七尾市社会事業協会やまと保育園（七尾市） |
| 【小学校の部】 | 優秀賞
奨励賞 | 白山市立明光小学校（白山市）
白山市立白峰小学校（白山市） |
| 【中学校の部】 | 最優秀賞
優秀賞 | 白山市立北辰中学校（白山市）
白山市立鶴来中学校（白山市） |
| 【高等学校の部】 | 奨励賞 | 石川県立田鶴浜高等学校（七尾市） |
| 【一般の部50坪以上】 | 優秀賞
奨励賞 | 花の会・つるぎ（白山市）
千路老人クラブ（羽咋市） |
| 【一般の部49～10坪】 | 優秀賞
奨励賞
奨励賞 | 西軽海町一丁目町内会（小松市）
七尾市田鶴浜町殿町公民館壽会（七尾市）
フラワーメイト（羽咋市） |
| 【一般の部9坪以下】 | 優秀賞
奨励賞
奨励賞 | J A小松市今江女性部（小松市）
金平町老人会（小松市）
荒屋町町内会（白山市） |

○優秀賞受賞花壇



林紀子さん



白山市立明光小学校



白山市立鶴来中学校〈植える花夢〉



花の会・つるぎ〈フラワーロード鶴来157〉



西軽海町1丁目町内〈西軽海花いっぱい〉



J A 小松市今江女性部

【審査の様子】

現地審査（4日間）と総合審査には、石川花の会の会員の皆さんにご協力をいただきました。とりわけ、現地審査では、朝早くに輪島市から白山市白峰、小松市などの遠方にもお出かけいただきました。総合審査では現地審査で得た情報や写真などをもとに、審査員全員が意見を出し合い、入賞花壇を選びました。



○奨励賞受賞花壇



太田一明・澄枝さん



七尾市社会事業協会ななおあいじ保育園



七尾市社会事業協会やまと保育園



白山市立白峰小学校



石川県立田鶴浜高等学校



千路老人クラブ〈ふれあい花壇〉



七尾市田鶴浜町殿町公民館壽会〈フラワーガーデン殿町〉



フラワーメイト



金平町町内会〈いきいき花壇〉



荒屋町町内会

◇ 「家庭の日」川柳コンクール

10月22日（木）に開催された審査会において、今年度の「家庭の日」川柳コンクールの入選作品が選ばれました。

今年度は、昨年度よりも約700人多い1,739人の皆さんからの応募がありました。入選作品は次のとおりです。

【小学生の部】

☆最優秀賞

・支え合う 見えない絆 家族の輪
七尾市立石崎小学校5年 牧野 姫那

◎優秀賞

・まいにちが えがおたくさん ぼくのいえ
金沢市立米丸小学校1年 作田 龍之介
・わになって はじけるえがお うれしいな
七尾市立石崎小学校3年 東山 稀

○佳作

・足音で だれがきたのか わかるんだ
羽咋市立西北台小学校2年 小櫃 悠汰
・言葉では なかなかいえない ありがとう
七尾市立石崎小学校3年 西田 愛菜
・散らかした くつが朝には そろってる
珠洲市立宝立小学校5年 春岡 智海
・十本の アイスを買々と 家族分
珠洲市立宝立小学校6年 門前 海那
・助け合い それが家族の 絆だね
珠洲市立みさき小学校5年 赤坂 和泉

【中学生の部】

☆最優秀賞

・しかられて いても感じる 親の愛
石川県立金沢錦丘中学校2年 澤崎 愛叶

◎優秀賞

・ありがとう その一言が てれくさい
白山市立北星中学校3年 平田 涼
・家族には 一人一人に 花がある
宝達志水町立宝達中学校1年 橋場 蒼

○佳作

・おはようと 家族が始まる 合い言葉
白山市立北星中学校3年 橋本 未由希
・言いかけて 今日も言えない ありがとう
白山市立北星中学校3年 宮川 有優香
・ぎこちなく 見え隠れする 父の愛
石川県立金沢錦丘中学校1年 竹腰 野乃
・家庭の日 今日僕がお母さん
宝達志水町立宝達中学校2年 蔵谷 智輝
・あたたかい 家族の笑顔 たちからもの
宝達志水町立宝達中学校2年 蔵谷 虹歩

【一般の部】

☆最優秀賞

・何もかも 許し溶け合う 家族の輪
金沢市 端河 潔

◎優秀賞

・離れても 心は一つ 家族愛
日本航空高等学校石川1年 藤巻 志歩

○佳作

・頑張れと 親の笑顔が 背中押す
日本航空高等学校石川2年 福島 滉也
・親元を 離れて気付く 家族愛
日本航空高等学校石川3年 御前 太聖



審査会の様子

◇「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」 「ツバメのお宿シール原画コンクール」

県内の児童に自然を大切にする心や、自然と人間の関わりについて考えを深めてもらうためにツバメ調査を実施し、心に残ったことや理解したことの「感想文」や写真、ツバメ新聞などの「記録・観察作品」を募集しました。

また、ツバメの巣がある場所に貼ることで、次年度以降の目印として活用する「ツバメのお宿シール」の原画を募集しました。審査の結果は次のとおりです。

○作品コンクール

【感想文の部】

・最優秀賞	小松市立日末小学校 6年	中橋	新
・優秀賞	金沢市立馬場小学校 6年	綿谷	みさき
・優秀賞	小松市立日末小学校 6年	奥村	ののか
・佳作	金沢市立中央小学校 6年	能崎	佑奈
・佳作	小松市立向本折小学校 6年	脇所	愛
・佳作	小松市立日末小学校 6年	大川	侑一郎
・佳作	加賀市立山代小学校 6年	日宇	瑛雅
・佳作	能美市立福岡小学校 6年	小野	広武
・佳作	内灘町立大根布小学校 6年	松田	百花
・佳作	内灘町立大根布小学校 6年	五寶	文菜
・佳作	志賀町立加茂小学校 6年	花島	涼太

【記録・観察作品の部】

・優秀賞	小松市立中海小学校 「ツバメ新聞」
・優秀賞	能登町立松波小学校 「ツバメ新聞」

○ツバメのお宿シール原画コンクール

・最優秀賞	小松市立能美小学校 6年	藤田	心奈 (シールに採用)
・優秀賞	金沢市立南小立野小学校 6年	大柳	柚香
・佳作	金沢市立中村町小学校 6年	鶴来	悠里
・佳作	金沢市立四十万小学校 6年	今井	和臣
・佳作	七尾市立天神山小学校 6年	山崎	真央
・佳作	七尾市立田鶴浜小学校 6年	三野	遙愛
・佳作	小松市立東陵小学校 6年	藤井	乃々香
・佳作	珠洲市立みさき小学校 5年	高野	愛海
・佳作	かほく市立高松小学校 6年	江上	千尋
・佳作	川北町立中島小学校 5年	西田	有翔
・佳作	津幡町立条南小学校 6年	北島	享汰
・佳作	志賀町立富来小学校 6年	酒井	愛香



ツバメのお宿シール（最優秀賞の原画を基に作成）



原画

作品コンクール【感想文の部】最優秀賞作品

『ツバメの町、日末』を目指して 小松市立日末小学校6年 中橋 新

ツバメ調査を行ってみて、分かったことがあります。1つは、「環境」のことです。ツバメが生きていくためには、よい環境は不可欠です。2つ目は、「自然のきびしさ」です。ツバメは天敵に食べられてしまったり、渡りの時に死んでしまったりするので、弱肉強食の世界の「自然のきびしさ」を感じました。

それでも、一番深く感じたことは、「地域の人々のあたたかさ」です。町の人に話を聞いたところ、とても熱心にツバメのことについて話してくれました。その方は、「ツバメがかわいくてしかたがない。カラスやら天敵に食べられるのがかわいそう。もっとツバメ、たくさん来てほしいね〜。」と話していました。地域の人たちのやさしさやあたたかさにつれ、ツバメの秘密も分かりました。

このように、ツバメを歓迎する気持ちを持ち、やさしく、あたたかい目でツバメを見守ってあげると、おのずとツバメは増えるのではないかと思います。地域一丸となって、ツバメの愛護・保護に尽くしていきたいです。そのために、まずは、ぼくたち日末小学校6年生が、先頭となって、ツバメを増やす保護活動をしていきたいです。そしていずれは、「ツバメの町、日末」と呼ばれるくらいになりたいです。

第44回ふるさとのツバメ総調査結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

私たちのふるさとの環境を見つめ、自然を愛護する心を育み、生き物への関心を高める機会となることをねらいとして昭和47年から実施している。

(2) 調査時期

愛鳥週間の平成27年5月10日(日)～16日(土)

※愛鳥週間は毎年5月10日～16日

(3) 調査参加者

県内の全公立小学校216校の6年生を中心とする児童12,166人

(前年比+46人、+0.4%)

2 調査結果概要

(1) 成鳥確認数

13,029羽 (前年比 Δ 728羽、 Δ 5.3%)

※調査時に児童が巣の付近や電線などに止まっているツバメを目視確認できた数。(飛んでいるツバメは数えない。)

(2) 使用中の巣の数

12,088個 (前年比 +406個、+3.5%)

(3) 考察

- ・成鳥確認数は4年ぶりに減少しているが、直近3年のツバメの成鳥確認数と大きな差はない。一方、使用中の巣の数は3年ぶりに増加していることから、近年のツバメの生息数は安定していると推測される。
- ・人に守られながら子育てをするツバメの生息には、ツバメを歓迎する意識が高いことが不可欠だが、今年度の調査でも、「ツバメを歓迎する」と回答した地域の方々の割合が81.3%と4年連続して80%超となっており、県民の皆様がツバメを歓迎しているものと考えられる。

3 報告書の発行について

調査結果のデータや調査を行った児童の感想文などをまとめた報告書は、11月上旬に各小学校に配付した。

※「ふるさとづくり表彰式」「花いっぱいをつどい」は、次号に掲載します。

◇ 太陽と緑に親しむ健民祭(10月開催分)

○健民野球大会

10月4日(日)、石川県立野球場で、午前は石川県早朝野球選手権大会が、午後は金沢日曜野球連盟選手権大会が開催されました。



【試合結果】・石川県早朝野球選手権大会
優勝 侍スピリッツ(能美市) 2位 セントラルメディカル(金沢市)

○おはようサイクリング石川健民大会

10月11日(日)、大豆田大橋から、五郎島町の芋畑までの往復28キロメートルのサイクリングを楽しみました。途中、金沢みなと会館で、自転車安全点検講習会や県警職員による子どもの安全対策、「ストップ!振り込め詐欺!!」の話がありました。五郎島町では全員で芋掘りを楽しみ、袋いっぱい「五郎島金時」をお土産にして帰りました。



○健民オリエンテーリング大会

10月12日(祝)、石川県森林公園を会場に、70人の参加者が制限時間内にどれだけ多くのポイントをどれだけ早く通過するかで、読図力と健脚を競い合いました。



【試合結果】男子A優勝 松室隼人 女子A優勝 山森汐莉 男子B優勝 井上裕介
女子B優勝 虎谷小百合 家族組優勝 半井秀 一般組優勝 加藤かすみ
初心者優勝 加賀谷堅志郎

○第48回石川県健康クラブ交歓大会

10月15日(木)、いしかわ総合スポーツセンターで、全県から38団体、約2千人が参加して、日頃の体力づくりや学習活動の成果を発表しました。各健康クラブの交流と親睦が進み、参加者は楽しく充実した1日を過ごしました。



田川大会長

【内容】

○入場行進

○開会式

- ・国歌斉唱
- ・開会の挨拶 田川修身大会長
- ・励ましの言葉 谷本正憲 健民運動推進本部長
(代理 竹中博康副知事)
- ・歓迎の言葉 山野之義 金沢市長
(代理 越田理恵保健局長)
- ・健康クラブ功労者表彰
功労者代表 岩田博美
被表彰者代表謝辞 古源和子

○準備運動

- ・全体歌唱「一円玉の旅がらす」「かがやきパラダイス」
- ・準備体操「健民さわやか体操」
- ・リズムダンス「かがやきパラダイス」

○各クラブ発表

○閉会式

- ・閉会の挨拶 滝野松雄 石川県健康クラブ協議会副会長
- ・健康万歳 浦野恒一 石川県健康クラブ協議会副会長



竹中副知事

彩り豊かなユニフォームで各団体が入場行進を行った後、開会式が行われ、田川大会長から開会挨拶があり、知事代理の竹中副知事からは「励ましの言葉」、金沢市長代理の越田保健局長からは「歓迎の言葉」をいただきました。

また、健康クラブ推進に尽力された37人の会員の功をねぎらい、表彰が行われました。



越田金沢市保健局長



功労者代表



表彰された皆さん

開会式の後、準備運動として、さわやかな声での全体歌唱や浚刺とした体操が行われ、各クラブの創意工夫に満ちた発表があり、日頃の練習の成果が発表されました。



全体歌唱



健民さわやか体操



リズムダンス「かがやきパラダイス」



各クラブの発表



◇ 美しい石川を歩く 一銭五の里・宮腰一

10月27日(火)、さわやかな秋空のもと、総勢(参加者・協力者・スタッフ)42人で「銭五の里・宮腰」約5kmのウォーキングを楽しみました。

宮腰(金石)は、海運で莫大な財を成した豪商、銭屋五兵衛のふるさとで、古い町並みが残っています。



金石銭五公園にて



スタートの大野湊緑地公園



白山を望むことのできる木曳川沿いにて



金石港にて

今回は、金石の歴史を知る会会長 林吉三さんに、歩きながら金石の歴史と文化についてお教えいただき、充実した時間を過ごしました。



地図は健民運動推進本部のホームページから入手できます。



古い船板を使った塀



林吉三さんの案内（本龍寺）



専長寺前にて



本龍寺前にて



町並みを楽しむ参加者の皆さん



ゴールの大野湊神社



神社の由緒を読む参加者

◇ 12月の健民運動カレンダー H27.1.20現在

12/6 (日)	平成27年度石川県ゲートボール協会表彰伝達式・納会 会場：津幡町文化会館シグナス 主催：石川県ゲートボール協会
12/13(日)	平成27年度石川県子ども会連合会育成指導者研修会 会場：石川県青少年総合研修センター（金沢市） 主催：石川県・石川県子ども会連合会

薫風

石川県ゲートボール協会
事務局長 松井 邦夫

会員全員の体力増進と病気予防のために

石川県ゲートボール協会は、発足以来今年で34年を迎えました。

体育指導員やレクリエーション指導員の協力を得ながら審判員を養成し、昭和56年3月29日に旧松任市（現白山市）で設立総会を開き、協会を立ち上げました。設立時は、会員と審判員総勢156人でスタートしましたが、その後、県内の市町村に協会が組織され、活動を続けてきました。

協会では、高齢者の健康づくりの一環として石川県健民運動推進本部の後援を得て、ゲートボールを普及させるため県内の老人会を中心に巡回指導を行ってきました。

こうした活動を土台として、協会では、全国大会の開催にも協力してきました。

昭和61年10月25日・26日には、第2回全日本ゲートボール選手権大会を金沢市の西部緑地公園陸上競技場で開催し、138チーム約800人の参加がありました。また、平成19年5月26日・27日には、小松市のこまつドームで第22回全国選抜ゲートボール大会を192チーム約1,100人の参加で開催しました。この大会では石川県代表のミドルクラス辰口中央が全国優勝を果たし、大会に花を添えてくれました。



文部大臣杯第2回全日本ゲートボール選手権大会

全国大会では、他にも平成12年に第13回スポーツレクリエーション祭、平成22年に第22回ねんりんピック大会を、小松市のこまつドームで開催しています。

地方ブロック大会等では、北信越ゲートボール選手権大会を県内各地で6回、中部日本ゲートボール選手権大会を県内各地で5回開催し、日本海オープン全国親善大会を小松市こまつドームで開催しました。県内大会としては、全国大会に向けての県予選大会、県協会主催の大会等、年間15回開催しています。県内の市町の協会においても、現在まで多数の大会を開催してきました。

日々の競技活動に加えて、これらの各大会の運営に貢献し、県協会の発展に協力している会員に対して、毎年末の12月に表彰式を実施し、功労者の功績を讃えています。

最近では会員数が減少していますが、会員がいる限りは、会員全員の体力増進と認知症等の病気予防のため、頑張っていきたいと思っております。



平成27年度健民祭



年末の功労者表彰式

「あいむ」だより



* 収集物（11月分）* <使用済み切手など>

監理課、計量検定所、県民生活課、石川県教職員互助会、危機対策課、廃棄物対策課、匿名の方の計7件。

ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

お知らせ

【平成27年度 石川県NPO起業実践講座開催事業12月の予定】

「第8回 [実務編] 無理なくできる会計処理」

会計業務は団体の管理運営に欠かせないものでありながら、難しい、煩雑と敬遠しがち。簡単で団体の継続につながる効率的な会計の考えやあり方をNPO運営に詳しい税理士を講師に迎えて学びます。

日時	12月17日（木）19時～21時
場所	金沢会場 石川県NPO活動支援センター 金沢市香林坊2-4-30 ラモーダ7階
定員	20名

参加費：全て無料

主催：(特) 百万石ワールドカフェ

《詳細情報・参加のお問い合わせ・お申し込み》

<http://www.hyakumangoku.org/ishikawaseed3/>

【「あいむ」ホームページにチラシコーナーを新たに設置しました！】

NPO・ボランティア団体からお知らせを「あいむ」ホームページでご覧いただけるようにしました。

詳しくはこちら → <http://www.ishikawa-npo.jp/chirasi/kaisaiannai.htm>

イベントやボランティア募集など皆さんからの「チラシ・パンフレット」をお待ちしております。

石川県NPO活動支援センター（あいむ）月曜日は休館

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 <http://www.ishikawa-npo.jp/>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料 無料）

お問合せ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」

まで、お気軽にどうぞ。《夜10時まで開館（火～金曜日）》

香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366
石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

[twitter](#) @kenmin_undou